



幸せな人生の条件＝よい人間関係

～幸せになるのに、遅すぎることはない～

先日、羽田から松山に帰る飛行機の中で、全く面識のない隣の席の人から色々な話をされた。こちらは、ほぼ聞き役に徹していたが、1時間30分ほどの時間があっという間に過ぎた。まさに「袖すり合うも他生の縁」ということわざを実感した一時だった。これまで、どんな人か分からない時は、自分から語りかけることなどなかったのですが、この体験をきっかけに、これまでの行動を見直すことができた、貴重な体験だった。

今まで何度か“ウェルビーイング”という言葉について書かせていただいた。ウェルビーイングとは、個人の刹那的な幸せではなく、みんなと一緒にずっと味わうことができる幸せな状態が続くことを指す言葉だ。他者から声を掛けられる前に、自分の方から声をかけるには勇気が必要になる。でも受け身ではなく、自分からのという姿勢を持てば、きっと世界は開けてくるに違いない。

今、手元に『グッド・ライフ』という400ページほどの単行本がある。この本は米国のハーバード大学の研究所で、同一家族の二世代にわたる追跡調査を80年以上続けて纏められたものだ。第二次世界大戦頃からの人々の歴史が詰まっている。

この本では、これまで日本人がずっと大事にしてきた「他者とのよりよい人間関係」こそが、健康で幸せな人生を送る鍵だと主張している。私は欧米型の幸せは「富」や「名声」を得るといった地位財の獲得を目指すもので、周りと比べなくても喜びを得られる「自由」、「愛情」、「自主性」などを大事にするのは日本人の独自のものと思っていたので、正直意外な気がした。人はともすれば、「今は、私の人生はこんな風だけど、きっと本当の幸せは別な所にきっとあるはず」と幸せ探しをやってしまいがちだ。でも、最終的には「青い鳥」のチルチルとミチルのように目の前の幸せに気付くのだろう。

著者はまとめとして、敢えて陳腐な話と言われることを承知で次のように語っている。少し長くなるが引用させていただく。「幸せな人生とは複雑な人生である。幸せな人生は喜びにあふれているけれども、試練の連続だ。愛も多いが、苦しみも多い。それに幸せな人生とは偶然の賜物ではない。幸せな人生とは、時間をかけて展開していく一つの過程だ。幸せな人生は楽な人生ではない。完璧な人生を送る方法など存在しないし、あったとしたらろくなもんじゃな。まさに、困難や苦勞こそが、豊かな人生、幸せな人生をもたらすからだ。」さらに、「幸せな人生は目的地ではない」とも語っている。

この言葉を読んで先日の「平和について学ぼう」で自身の満州からの引き揚げ体験を語ってくれた齋藤ミヤさんのことが思い浮かんだ。講義の中で、齋藤さんは小学生の頃に聞いた両親の秘密の会話を誰にも語るができずに、ずっと胸の奥に秘めていたことを語った。誰かに語るができたことで、これまでずっと引っかかっていた棘が抜けたと語っていたが、受講生の皆さん方とのよき関係性があつたがゆえに、言葉が堰を切って溢れてきたのだろう。まさに『グッド・ライフ』がいう幸せの鍵「よい人間関係」の大切さを教えられた。これからも受講生の皆さんとの縁によって、お互いが“仕合せ”になれる機会を増やしていきたいものである。

8月19日「SDGsから考える地球環境問題」で別子中学校の生徒による取り組みの発表がありました。

別子中学校の取り組みとワークショップについて

「SDGsから考える地球環境問題」の第三回では、別子中学校の3年生の生徒達から地域の一員として活動している実践を発表していただき、その後、世代を超えて対話型のワークショップを行いました。

別子地区では、別子中学校の生徒たちが地域の方々と協働して地域を元気にする活動に取り組んでいます。その実践を三年生の生徒二人がプレゼンテーションし、コーディネーター役の池田教諭が思いを引き出してくれました。



一点目は「別子ファーム」です。地域の人たちに農作業を教えてもらい野菜づくりを行い、できた野菜をマイントピア別子などで販売もされたそうです。活動のきっかけは、4年前の生徒の提案だったそうです。別子地区が元気になるように、SDGsの目標の一つであるパートナーシップを目標に掲げて、みんなと一緒に汗を流しています。その体験を通じて、消費者とは違う販売者の視点や、地域の人たちの優しさ、さらには自然の怖さも知ることができました。台風で支柱がなぎ倒されたことや、せっかくできた野菜がサルやイノシシに食べられてしまう体験もされたそうです。さらに、環境問題解決のためにコンポストを使って寮で出た生ごみを分解し、循環型社会を目指しているとのことでした。

二点目は昨年12年振りに開催された「ふるさと別子夏まつり」です。その企画の中心は、19人の生徒達でした。当日はあいにくの雨でしたが、地元の住民や保護者などたくさんの方が体育館に集まり、様々なイベントや盆踊りに興じました。地域の人たちは活気にあふれる祭りによって、生徒たちとのつながりを実感できたそうです。



後半はワークショップでした。フューチャーデザインの手法を用いて、7つの班に分かれて話し合いました。別子の将来、環境、男女共同参画、消費者問題などを題材に、生徒と大人が対等な立場で熱心に語り合いました。報告の際には生徒たちも大人に混じって、自信をもって語っていました。今の教育は、主体的で、対話的で、深い学びを大切にしていますが、そんな学校の雰囲気を感じることができました。SDGsの実現には、年齢や立場を越えて多様な人たちが関わっていくことが重要なことを学び、別子中学校の生徒たちの成長に心から拍手を送った2時間でした。

自信をもって語っていました。今の教育は、主体的で、対話的で、深い学びを大切にしていますが、そんな学校の雰囲気を私たち大人も実感することができました。SDGsの実現には、年齢や立場を越えて多様な人たちが関わっていくことが重要なことを学び、別子中学校の生徒たちの成長に心から拍手を送った2時間でした。





生涯学習大学の講座を終えて

生徒の感想



3年生 曾我部翔琉 (そがべ かける)

僕が、この講座を通して学んだことは、世代を超えての対話の楽しさと可能性です。学校では同じ世代の中学生と対話する機会は多くありますが、大人の方々と対話する機会はなかなかありません。したがって、このような体験はとても新鮮な気持ちで参加することが出来ました。実際にワークショップでは、中学生では知らない新居浜市の歴史や、受講生の方々が長年培ってきた経験を踏まえた意見を出してくれたことで、鋭い切り口が生まれ、深い対話につながったと心の底から感じました。今回の講義では SDGs を踏まえた環境問題でしたが、新居浜市の別子山地区は、先進国が抱える課題の先頭に立っていると改めて実感することもできました。出生率の低下や高齢化など、様々な課題に直面していますが、これを打開するには、自然環境だけでなく住環境などの改善も必要だと思います。未来に向けて変えていくには、新居浜市の強みを知っている僕たちが大きな力になるはずで、まずは僕たち市民が課題を認識し、そこから未来を構想することが、新居浜市の発展につながると感じました。

3年生 清水 煌生 (しみず こうき)

今回、受講生の皆さんの前で発表させていただきましたが、改めてアドリブ力やプレゼン力、そういうものが必要な場所なんだと感じました。講師という立場で大人の方々の前で発表させていただく機会がまずないので、本当に貴重な機会になりました。「別子ファーム」を一般の方々に一から説明したことがなかったのも、僕自身も改めて別子ファームについて考えを深められることができましたし、どのように言葉を選べば、受講生の皆さんに自分たちの伝えたいことが伝えられるか考えることもできました。これからも、「別子ファーム」のことを知らない人がいないぐらいに積極的に情報発信して、どんどん人と人を繋げていきたいと感じました。そして、これまで繋がったことのない方との会話も貴重な時間でした。30年後、別子に1000人の住民がいることを想定して、どこをどうすれば人口が増えるのか、その過程を考えることができましたし、未来を考える重要性を感じました。大人と会話することは少し勇気が必要ですが、話してみると新しい発見があり、自分にはない視点をいただけることもあります。自分の視点だけで物事を解決せず、他者の視点で考えたり、周りから助言を頂いたり、自分たちから行動したいと思います。これからも、この経験を生かし、たくさんの人と繋がれる場を作っていきます。是非、応援してください。今回はこのように学ばせていただける機会をいただきまして、ありがとうございました。





講座カレンダー

10月



予定のご確認を…

※警報や災害・講師の都合などで日程を変更することがあります。

日	曜	開間	聴	講座名	回	テーマ	会場
4	水	9:30	◎	新・雑談しま専科	5	雑談パート④	生涯学習センター研修室
		13:30	◎	公民館まちづくり	2	元気な公民館から学ぶ	生涯学習センター研修室
5	木	10:00		新居浜再発見	2	図書館見学&活用講座	別子銅山記念図書館
		13:00		学んで マナビィ	2	草木染・重ね染めに挑戦	ウィメンズ料理実習室
6	金	9:30		市内文化財見聞録	4	明正寺から塩田遺跡へ	現地
7	土	9:30		スマホ動画講座★B班	3	YouTube へのUP	生涯学習センター研修室
		9:30	◎	高専市民講座	4	サイバーセキュリティ	新居浜高専視聴覚教室
		13:30		日本文学講座	4	『千利休とその妻たち』	文セン別館視聴覚教室
8	日	9:00		親子で楽しむ自然体験	3	キャンプファイヤー	市民の森
10	火	13:30		大人の日本史★追加	1	邪馬台国はどこにあった	生涯学習センター研修室
11	水	10:00	◎	懐かしの心の唄講座	4	懐かしい歌を唄う	文セン別館中ホール
		14:00	◎	人生百年医学講座	4	一病息災で長生きしよう	文セン別館中ホール
12	木	9:00		はじめての別子銅山	4	鹿森社宅跡訪問	鹿森社宅跡
13	金	13:30		林住期を心豊かに生きる	4	林住期の壁の乗り越え方	文セン別館大会議室
14	土	9:30	◎	SDGs 地球環境問題	5	企業SDGs への取組み	株式会社大石工作所
19	木	13:30		源氏物語の世界	2	源氏物語の各帖のお話	文セン別館視聴覚教室
20	金	10:00		学んで マナビィ★追加	—	心と身体が柔らかくなるヨガ	ふれあい多目的アリーナ
21	土	13:30		絵手紙を楽しもう	5	絵手紙で交流しよう	生涯学習センター研修室
23	月	9:30	◎	人間学講座	5	唯識三十頌を読む	生涯学習センター研修室
24	火	10:00		四季の別子山	3	秋の実りを楽しむ	現地
		10:00		学んで マナビィ	—	気功で体と仲良しに	ふれあい多目的アリーナ
25	水	9:30		本を作ってみませんか	3	原稿を入稿して印刷	生涯学習センター研修室
		13:00		自然探訪	3	海のいきもの観察会	黒島海浜公園
26	木	13:30	◎	新・読書のすゝめ	2	あなたの人生を変えた本	生涯学習センター研修室
27	金	10:00		学んで マナビィ	—	ジイジの料理・旬の食材	ふれあい調理実習室
		13:30		創ってみませんか	2	ちぎり絵&パステルアート	生涯学習センター研修室
28	土	9:30	◎	高専市民講座	5	留学生が見た現代アメリカ	新居浜高専視聴覚教室
		13:30		松山大学公開講座	8	社会学のはじまりと考え方	生涯学習センター研修室
30	月	9:30		学んで マナビィ	—	コーヒーいかがですか?	生涯学習センター研修室
31	火	9:30	◎	へんろと郷土	4	へんろ世界における手形	文セン別館視聴覚教室
		13:30		大人の日本史講座	2	聖徳太子の実像に迫る	文セン別館視聴覚教室

※◎がついている講座は聴講可能講座です。

※20日(金)に予定していた「別子銅山に学ぼうⅢ」4回目「滅多に行かない所の探索」は延期になりました。

※28日(土)「松山大学公開講座」の講師・テーマに変更があります。